

戦国期毛利氏の食卓復活： 饗応食の意義探求とその文化・伝統の 多面的活用に関する研究

- 日 時 平成31年3月20日(水)15時～
- 会 場 県立広島大学 調理科学実験室・調理実習室
(教育研究棟1の3階)

■ 内 容

現在、本学人間文化学部では学部プロジェクトとして、「戦国期毛利氏の食卓復活：饗応食の意義探求とその文化・伝統の多面的活用」を研究テーマに、毛利氏の饗応食の再現を進めています。このたび上記の日程で、その研究成果を饗宴の献立(三膳十献)の再現とともに報告します。

※本研究は三矢の訓協定に基づき、「平成30年度地域課題解決研究」として毛利三兄弟のふるさと連携協議会(安芸高田市, 北広島町, 三原市(事務局三原市教育委員会文化課))が本学に提案し、実施されているものです。



※当日の試食はできませんが、平成31年3月23日に三原市芸術文化センターポポロで開催される「三矢の訓対談(主催:安芸高田市, 北広島町, 三原市)」において、再現食の一部が数量限定で試食提供されます。

- 主 催 県立広島大学 人間文化学部
同大学院総合学術研究科 人間文化学専攻
- 共 催 毛利三兄弟のふるさと連携協議会
(安芸高田市, 北広島町, 三原市)
- 問 合 先 〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1-71
健康科学科 杉山寿美 (E-mail sugiyama@pu-hiroshima.ac.jp)